

# 未来の学びと持続可能な開発・発展研究会（みがくSD研）

TRansdisciplinary Initiative on Action & Learning for Sustainable Development (TRIAL for SD)  
depuis 2015



## 異分野融合を志向する越境研究・実践者ネットワーク

みがくSD研は、グラノヴェッター(1973)が指摘した弱い紐帯(Weak ties)の強さと、何でも吸い込んでしまうブラックホールのメンタリティを有した、異なる専門分野(社会学、法学、環境心理学、行政、教育等)の実践的な研究者の分野横断的・越境的な研究・実践団体です。みがくSD研はイヴァン・イリイチが提唱するコンヴィヴィアリティ(Conviviality)を大事にしており、「共愉」的で「相互依存しながら自立する自由な共生」を特徴としています。自主研究だけでなく、学会や地域団体、学校、自治体、企業、CSO(NGO・NPO)などのマルチセクターと協働し、研究と実践を行っています。

## 研究・実践内容

- 「SDGsを指標とした地方自治体の持続可能性に関する政策の実態調査・研究」
- 「教育・PBL(Project Based Learning・Problem Based Learning)・ESDの実践・研究」
- 「異分野融合を志向する越境研究者ネットワークによる社会問題解決の研究」
- 「評価手法の研究」

## 会員一覧

共同代表： 村松 陸雄（武蔵野大学工学部教授・環境心理学） 田中 優（大阪国際大学経営経済学部教授・自治体公共政策）  
事務局長： 村山 史世（麻布大学生命・環境科学部専任講師/武蔵野大学客員准教授/あざおね社中会長・法学）  
事務局会員： 石井 雅章（神田外語大学言語メディア教育研究センター長/准教授・環境社会学）  
滝口 直樹（武蔵野大学客員准教授/合同会社環境活動支援工房代表社員・環境行政）  
長岡 素彦（一般社団法人地域連携プラットフォーム代表理事・ESD）

## 会 員：

伊藤 通子（東京都市大学教育開発機構教授・PBL）  
小山田 健（小樽商科大学グローバル戦略推進センター 地域連携教育担当コーディネーター/学術研究員・地域連携教育）  
勝浦 信幸（城西大学経済学部客員教授・創造的地域経営）  
小林 久美子（千葉大学大学院園芸学研究科博士後期・EMS(環境マネジメントシステム) /フードシステム)  
陣内 雄次（宇都宮大学教育学部教授・まちづくり）  
高橋 朝美（一般社団法人環境パートナーシップ会議（EPC）・協働取組）  
畑 正夫（兵庫県立大学地域創造機構教授・公共政策）  
早川 公（大阪国際大学経営経済学部経済学科准教授・文化人類学）  
福島 聡（元十文字学園女子大学特別招聘教授/作家・哲学）  
松田 剛史（藤女子大学人間生活学部准教授/ソーシャルベンチャーあんじょう家本舗代表・ESD）  
山口 泰史（熊本学園大学経済学部経済学科准教授、武蔵野大学客員教授・人口地理学）  
吉本 理沙（愛知大学経営学部准教授・公会計）

## 連携会員

浅川 和也（関係性の教育学会会長/明治学院大学国際平和研究所研究員・平和教育）  
本田 正美（東京工業大学環境・社会理工学院研究員・電子政府/電子自治体/自治体経営）

## 匿名会員 1名

## 論文・論説・書籍

田中優（2019）. PBLを用いた”よそ者・若者”と描く持続可能な地域自治のデザインー京都府南山村事例からの考察ー 地方自治研究 vol134 No. 1, 15-26.  
石井雅章（2019）. PBLの時間的変容とステイクホルダーの関係性の変容に関する可視化と考察ー「休耕地活用プロジェクト」を事例としてー 地方自治研究, vol134 No. 1, 27-45.  
畑正夫・長岡素彦（2019）. 大学が地域課題に学ぶ意義を問い直す 関係性の教育学 Vol. 18 No. 1, 39 - 49.  
石井雅章・陣内雄次・村山史世・長岡素彦（2019）. 若者の学びが創出するローカル・ガバナンスの可能性 関係性の教育学 Vol. 18 No. 1, 51 - 70.  
村松陸雄・滝口直樹・高橋朝美・村山史世・長岡素彦・石井雅章（2019）. 報告 企画セッション報告2「SDGsの地域社会との接合可能性を探るーマルチステイクホルダー・パートナーシップの観点から」 環境情報科学 48(1)  
村山史世・石井雅章・陣内雄次・高橋朝美・滝口直樹・長岡素彦・村松陸雄（2019）. 2030アジェンダ・SDGsを理解し、自分事化するためのワークショップの実践ー6つの事例と自分事化のフェーズ 武蔵野大学環境研究所紀要 No. 8, 47-65.  
長岡素彦（2019）. SDGs持続可能な開発目標へのアプローチと参画 武蔵野大学環境研究所紀要 No. 8, 35-45.  
田中優（2018）. 学生・教職員・自治体職員・地域住民のための地域連携PBLの実践, ナカニシヤ出版  
早川公（2018）. まちづくりのエスノグラフィーー《つくば》を織り合わせる人類学的実践, 春風社.  
山口泰史（2018）. 若者の就職移動と居住地選択, 古今書院.  
長岡素彦・村山史世（2018）. 公開シンポジウム特集 ISDGs/ESD×共生教育 共生科学, 9, 32-33.  
長岡素彦（2018）. SDGs・持続可能な共生をすすめるESD・地域連携教育 共生科学, 9, 34-43.  
滝口直樹（2018）. SDGsと共生, そして「権利、筋、ことわり」についての一考察 共生科学, 9, 44-52.  
石井雅章（2018）. 包摂性・持続可能性への感性を養うPBL 共生科学, 9, 53-62.  
村山史世（2018）. 現実の課題に基づいた学びとしてのPBL、ESDと共生教育 共生科学, 9, 63-73.  
石井雅章・陣内雄次・勝浦信幸・長岡素彦（2018）. PBL実践における学修成果の可視化手法に関する実践と考察 関係性の教育学, 17(1), 15-27.  
早川公（2018）. 地域志向教育づくりの検証に向けた試論的考察ー「アンチパターン」概念を手掛かりとして 関係性の教育学, 17(1), 73-84.

- 村山史世 (2018). 師弟同行型 PBL について -状況的学習と地域共創 関係性の教育学, 17(1), 103-113.
- 村山史世・相場史寛 (2018). 2030 アジェンダ・SDGs を自分事化するためのツールの開発 日本環境教育学会関東支部年報, No.12, 33-36.
- 村山史世・滝口直樹 (2018). 自治体・地域づくりから見た 2030 アジェンダ・SDGs の可能性についての予備的考察 武蔵野大学環境研究所紀要, 7, 73 - 88.
- 村松陸雄 (2018). 大学生による持続可能な開発目標 (SDGs) に関する認知 武蔵野大学環境研究所紀要, 7, 97-109.
- 石井雅章 (2018). 企業の環境対策を対象とした《他者性》概念を用いた分析枠組みの構築 武蔵野大学環境研究所紀要, 7, 89-96.
- 早川公 (2018). 「共創」を生みだす地域づくり実践のエスノグラフィ分析 -つくば市北条地区のプロジェクトを事例として- 地域活性研究, 9, 80-89.
- 早川公 (2018). 「まちづくり」による地域認識の変容 -筑波研究学園都市開発のディスコース分析を通じて- 仁愛大学紀要人間学部篇, 16, 47-59.
- 福島聡 (2018). 「想いの共有」から始まる大学の地域「共創」—当事者意識が“心の種火”を自信に変える—, 地域連携共同研究所年報第2号, 61-64.
- 畑正夫 (2018). 幸せを創出するイノベーションが拓く地域の未来 : 求められるエコシステムの構築 (特集 地域創生), 21 世紀ひょうご: 公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構研究情報誌 (23), 16-26.
- 松田剛史 (2018). 社会科・公民科教員免許取得を目指す学生の意識変容の考察 苫小牧駒澤大学紀要, 33, 165, 167-183.
- 田中優 (2017). 協働型まちづくりの実践と職員の人材育成, 月刊ガバナンス, No.190, 46-48.
- リンダ・トープ、サラ・セージ、伊藤通子・定村誠・吉田新一郎 (翻訳) (2017). PBL 学びの可能性をひらく授業づくり: 日常生活の問題から確かな学力を育成する 北大路書房
- 早川公 (2017). 地域に期待される「大学の役割」とは何か—「地域志向教育」のあり様をめぐって— 地域活性学会第9回研究大会発表論文集, 306-309.
- 早川公 (2017). 「地域志向教育」とは何か—地域学、フィールドワーク、拡張現実 教育・学生支援センター紀要 (宮崎大学), 1, 17-25.
- 村松陸雄・石井雅章・田中優・長岡素彦・村山史世 (2017). 3 つの実践例から考える PBL の設計と PBL による変容 武蔵野大学環境研究所紀要, 6, 15-20.
- 石井雅章 (2017). 地域に分け入る、休耕地活用プロジェクト (特集 環境教育で次世代リーダーをつくる) 環境会議, 2017 秋号, 168-173.
- みかく SD 研紹介記事 (2017). 地域から考える持続可能な開発目標-2030 アジェンダ・SDGs×自治体計画の公開研究会 環境会議, 2017 秋号, 212-213.
- 環境会議編集部・山田智彦・渡辺真央・相場史寛・鈴木遙日・中山亮太 (2017). 日々の暮らしから開発目標を考える 環境会議, 2017 秋号, 112-117.
- 村山史世 (2017). ESD の教材としての自治体計画と 2030 アジェンダ・SDGs-地域課題を取り扱う主体的な学びのために- 日本環境教育学会関東支部年報, No.11, 29-34.
- 石井雅章、國枝孝之、村田淳、竹原健、原田真輔、家令悠斗、中野楓子 (2017). タブレット型 CALL システムの開発・運用 情報教育シンポジウム 2017 論文集, 163-167.
- 石井雅章 (2017). 外語大学におけるタブレット端末 BYOD の現状と学生の学習状態に関する調査分析 研究報告教育学習支援情報システム (CLE), 4 号 21 巻, 1-7.
- 陣内雄次・須田栞 (2017). 防災・減災の視点を取り入れた家庭科の指導内容・方法 に関する一考察 宇都宮大学教育学部教育実践紀要, 3, 195-202.
- 陣内雄次 (2017). まちづくり NPO の可能性と課題に関する一考察 宇都宮大学教育学部研究紀要, 第1部 (67), 147-155.
- 村松陸雄、村山史世 (2016). ノンフォーマル教育は大学における持続可能な開発のための教育 (ESD) の触媒となるか? 武蔵野大学環境研究所紀要 5, 43-57.
- 畑正夫 (2017). 大規模災害が想定される地域に暮らす在宅療養者のリスクマネジメント: 公助, 自助, 共助のバランスの取れた備えのデザイン (特集 地方創生を OR する: エビデンスを生かした戦略展開) 経営の科学, 62(5), 309-315.
- 趙絵字・滝口直樹 (2017). 中国における企業の環境信用評価システム: 力強い実施への道筋 (特集 環境分野の市民参加と司法の役割) 行政法研究, 18, 163-173.
- 松田剛史 (2017). 教職課程履修生における特別活動への意識変容とその考察 藤女子大学人間生活学部紀要, 54, 147-156.
- 山口泰史 (2017). わが国における PBL 研究の動向: 大学教育での実践を中心に 日本地域政策研究 19, 34-41.
- 村松陸雄 (2016). 20 年後の未来社会に対する大学生のイメージ(その2)-環境意識と行動の違いに着目したテキストマイニング分析 武蔵野大学環境研究所紀要, 5, 33-41.
- 田中優 (2016). 協働による課題解決のデザイン, 今川晃編著『自治体政策への提言 学生参加の意義と現実』, 北樹出版, 119-123.
- 石井雅章 (2016). PBL 型ゼミにおける学生の社会人基礎力要素の変容分析 研究報告教育学習支援情報システム (CLE), 2016-CLE-18, 1-8.
- 伊藤通子・佐藤真久 (2016). 高専教育とアクティブラーニング (小特集 PBL の現状) 日本高専学会誌, 21(4), 29-34.
- 勝浦信幸・石津賢治 (2016). 地方公共団体における住民投票制度に関する一考察: 北本市における新駅建設をめぐる住民投票の事例を踏まえて 城西経済学会誌, 37, 87-117.
- 陣内雄次・大嶋悠也・上田由美子 (2016). 高校生参画のまちづくりに関する一考察: 栃木市「若者の居場所づくり事業」を事例に 宇都宮大学教育学部研究紀要, 第1部 (66), 183-192.
- 山口泰史 (2016). メリトクラシー概念を用いた現代社会の実証的検討の動向 東京大学大学院教育学研究科紀要, 56, 181-190.
- 山口泰史・江崎雄治・松山薫 (2016). 山形県庄内地域における若年人口の流出と親世代の意識 (特集号 地方都市の現在) 地学雑誌, 125(4), 493-505.
- 陣内 雄次 (2016). 住まいとまちづくりを考える教育活動のあり方に関する一考察: 教員免許状更新講習の分析から 宇都宮大学教育学部教育実践紀要, 2, 129-136.
- 伊藤通子・定村誠・畔田博文・高松さおり・戸出久榮・小澤妙子・上坂撰 (2015). イノベーション人材育成のための社会連携型教育における高次の学習法 工学教育 63(1), 74-80.
- 根上明・村松陸雄 (2015). 協同をベースにした体験学習型授業における学生の主体的な学習の変化について-「自然環境教育演習1」での実践報告 武蔵野大学環境研究所紀要, 4, 105-115.
- 村山史世・小宮菜摘 (2015). 教育プログラムを ESD 化するための一手法について 武蔵野大学環境研究所紀要, 4, 75 - 86.
- 村山史世・小此木美咲・小宮菜摘 (2015). ESD 化された環境教育プログラムにおける参加者およびスタッフの変容 日本環境教育学会関東支部年報, 9, 1-9.
- 陣内雄次・奥田悠夏・上田由美子 (2015). ESD の概念を取り入れた住教育プログラム: 提案と考察 宇都宮大学教育学部教育実践紀要, 1, 107-114.
- 陣内雄次・上田由美子・大嶋悠也 (2015). 復興まちづくりと若者参画に関する一考察 宇都宮大学教育学部紀要, 第1部 (65), 187-193.
- 山口泰史 (2015). 山形県庄内地域の人口減少と本学の取り組み (小特集 日本全体に活力を生み出す私立大学の地方創生) 大学時報, 64(363), 68-73.
- 山口泰史・松山薫 (2015). 戦後日本の人口移動と若年人口移動の動向 東北公益文科大学総合研究論集, 27, 91-114.
- 石井雅章 (2014). 地域農家・企業との多様な連携により、実存する地域課題の解決型プロジェクトを複数実施 社会人基礎力を育成する授業 30

選, 経済産業省 産業人材政策室

- 村山史世 (2014). 環境教育とESD/SDの実践と地域社会の変容 日本環境教育学会編 環境教育とESD(日本の環境教育) 東洋館出版社, 90-96.
- 山口泰史 (2014). 地域別将来人口推計結果 (2013年3月公表) に対する一考察:一東日本大震災を踏まえて一 季刊地理学, 65(4), 228-232.
- 陣内雄次・上野 由里加・上田 由美子 (2014). 家庭科における地域の特色を生かした学習活動の可能性:宇都宮市大谷地区を事例とした参加体験型学習の提案 宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 37, 247-254.
- 陣内雄次・上田由美子・安部美紀 (2014). 応急仮設住宅集会所におけるコミュニティ支援のあり方に関する一考察 宇都宮大学教育学部紀要, 第1部(64), 179-191.
- 伊藤通子・磯田節子・下田貞幸 (2013). デンマーク Aalborg PBL Model の特徴と高専教育との比較 (特集 高専制度 50周年:高専のグローバル化の在り方と動向) 日本高専学会誌, 18(4), 9-14.
- 石井雅章 (2012). 課題解決型教育による地域政策への貢献 地方自治研究, 27(1), 83-96.
- 陣内雄次・渡邊真弓・上田由美子 (2013). 宇都宮市大谷地区を事例にまちづくり学習を考える 宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 36, 73-80.
- 陣内雄次 (2013). 地域づくり人材養成プログラムに関する一考察 宇都宮大学教育学部紀要, 第1部(63), 195-200.
- 吉本理沙 (2013). 第5章 水辺のまちづくりに向けたデータ活用の現状と課題—柳川市の事例を参考に— 愛知大学経営総合科学研究所叢書, 42, 63-74.
- 安田信之助・勝浦信幸 (2012). 「新しい公共」を担う人材育成に関する事例研究 国際文化研究所紀要, 17, 1-26.
- 陣内雄次・渡邊真弓・上田由美子 (2012). まちづくり学習の可能性と課題に関する一考察:宇都宮市大谷地区を事例として 宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 35, 231-238.
- 陣内雄次・上田由美子・渡邊真弓 (2012). 家庭科教育とまちづくり学習に関する一考察 宇都宮大学教育学部紀要, 第1部(62), 175-183.
- 陣内雄次・上田由美子 (2011). 子どもたちにとっての放課後の居場所に関する一考察 宇都宮大学教育学部教育実践総合センター紀要, 34, 223-230.
- 陣内雄次・上田由美子 (2011). 都市内分権の可能性と課題:宇都宮市における地域まちづくり計画策定の事例から 宇都宮大学教育学部紀要, 第1部(61), 107-118.
- 山口泰史 (2011). 山形県出身者におけるUターン者而非Uターン者の意識構造 季刊地理学, 63(3), 190-191.
- 有澤健治・富増和彦・吉本理沙 (2011). 愛知県における廃棄物処理の10年間の推移 愛知大学経営総合科学研究所叢書, 40.
- 村山史世 (2009). エコキャラ 環境会議, 2009 春号, 134-139.
- 田中優 (2008). ガバナンス時代の人材育成法, 月刊ガバナンス, No. 100, 47-49.
- 田中優 (2007). 地方自治体職員のガバナンス能力育成研修—兵庫県自治研修所の事例—, 同志社政策科学研究, 9(1), 183-195.

## 学会発表

- 畑正夫・長岡素彦・滝口直樹・村山史世・石井雅章 (2019). ワークショップ B1 「SDGs レンズで見る転換期の地域開発政策の検討」日本計画行政学会 第42回全国大会プログラム(徳島文理大学)
- 滝口直樹・勝浦信幸・河田次郎・塩見昌男・畑正夫・村山史世 (2019). 分科会7 「SDGsを問い直す/SDGsで問い直す~自治体・地域社会の新しい未来」(企画責任者/田中優・小林美智子) 第33回自治体学会堺大会
- 村松陸雄・葛西妃南・眞弓愛里沙・出塚益弘・加藤要・椎名悠斗 (2019). 環境学に対するイメージと期待に関する探索的検討, 日本環境教育学会 第30回年次大会(山梨).
- 長岡素彦・松田剛史 (2019). ワークショップ d 「ESD に基づいた SDGs を一みんなの SDGs 実践によって—」日本ESD学会 第2回大会(宮城教育大学).
- 松田剛史 (2019). 教職課程科目でのフィールドワークとESD, 日本ESD学会 第2回大会(宮城教育大学).
- 長岡素彦 (2019). SDGs と Society 5.0 時代のESD/ユネスコスクールの推進の意義と特色, 日本ESD学会 第2回大会(宮城教育大学).
- Fumiyo Murayama (2019). Tools for Making the 2030 Agenda One's Issue. 2nd International Conference on Sustainable Development Goals (ICSDG 2019) 30th to 31st July 2019, Georgetown, Penang, Malaysia.
- Masaaki Ishii (2019). A Phase Theory for Relevance Between Organization and SDGs. 2nd International Conference on Sustainable Development Goals (ICSDG 2019) 30th to 31st July 2019, Georgetown, Penang, Malaysia.
- 村山史世・谷津直生(2019). アダプト・プログラムとガバナンス—SDGsの観点から, コミュニティ政策学会 第18回学会大会(大山).
- 本田正美・村山史世・村松陸雄・石井雅章・長岡素彦・高橋朝美・畑正夫 (2019). シンポジウム「SDGsにおける社会情報の位置付けと意義とは?—考えるためのヒント」社会情報学会・社員総会シンポジウム(2019年度), 東京大学(本郷キャンパス)工学部2号館93B.
- 安井至・岡野隆宏・山口健太郎・後藤敏彦・伊藤通子 (2019). 市民公開シンポジウム「SDGsと地域循環共生圏 市民・企業・行政のパートナーシップによる共生を目指して」日本共生学会 第11回相模原大会
- 山脇直司・岡本弥彦・石井雅章・早川公・南館こずえ (2019). 市民公開シンポジウム「システムの視点で共生科学を問い直す」日本共生学会 第11回相模原大会
- 浅川和也・坂本旬・畑正夫・長岡素彦 (2019). 自主企画シンポジウム「SDGsと共生—SDGsを平和、メディア、まちづくり、地域・市民社会の活動と研究から語る」登壇者 日本共生学会 第11回相模原大会
- 長岡素彦 (2019). SDGs グローバル内発的共生のための『SDGs ロードマップ』—中央集権的『ローカライズ』を超えて 日本共生学会 第11回相模原大会
- 畑正夫 (2019). 『カヤノキさん』と集落の暮らし—共生社会にふさわしい地域開発のあり方の検討に向けて— 日本共生学会 第11回相模原大会
- 陣内雄次 (2019). 住まい・まちづくりをテーマとする学校教育に関する一考察—SDGsと共生圏の視点から— 日本共生学会 第11回相模原大会
- 小山田健 (2019). 地元学から考える共生教育 ~未来予想図を描きぬえを行うワークショップを通じて 日本共生学会 第11回相模原大会
- 長岡素彦・畑正夫 (2019). 課題研究 II 「SDGs と ESD・PBL」—アクティブラーニング・PBLと地域連携教育に関する課題研究 2018 報告 関係性の教育学会第17回(2019)年次大会(さいたま市)
- 長岡素彦 (2019). SDGs としてのESD—マルチステークホルダー問題解決型SDGsのためのESD 関係性の教育学会第17回(2019)年次大会(さいたま市)
- 小山田健 (2019). 小樽商科大学の正課科目、地域連携型PBL科目『本気プロ』コーディネーターの役割と変化についての実践報告 関係性の教育学会第17回(2019)年次大会(さいたま市)
- Fumiyo MURAYAMA (2019). Possibilities of SDGs Lens The 17th Annual Meeting of the Engaged Pedagogy Association 17th annual meeting
- 松田剛史 (2019). 教職課程におけるフィールドワーク実践の報告—ESDを軸とした「特別活動」を考える— 関係性の教育学会第17回(2019)年次大会(さいたま市)
- 村山史世・長岡素彦・早川公・石井雅章・村松陸雄・陣内雄次 (2019). 未来のプロフェッショナルを育むために大学教育に求められる変容とは? 参加者企画セッション, 第25回大学教育研究フォーラム(京都)
- 村山史世 (2019). SDGs レンズで※※を見ること, 日本アクティブ・ラーニング学会第3回全国研究大会(神田外語大学)
- 日本共生学会 SD 部会 (2018). 日本共生学会 SD 部会研究会「開発概念の再検討」(オンライン・パネルディスカッション)
- 村松陸雄・滝口直樹・高橋朝美・村山史世・長岡素彦・石井雅章 (2018). 企画セッション報告(1)「SDGsの地域社会との接合可能性を探る—マルチステークホルダー・パートナーシップの観点から」, 第32回環境情報科学学術研究論文発表会
- 田中優・村山史世・石井雅章・畑正夫 (2018). 研究部会セッション2「PBLを用いたよそ者・若者と描く持続可能な地域デザイン」日本地方自

治研究学会第35回全国大会（室蘭工業大学）

早川公（2018）。「まちづくりのエスノグラフィ」日本建築学会 人類学的アプローチWG 拡大研究会（東京都）。

畑正夫・長岡素彦・滝口直樹・村山史世・石井雅章（2018）. ワークショップ「地方自治体政策へのSDGsの実装に向けて」, 日本計画行政学会第41回全国大会（福岡大学）。

未来の学びと持続可能な開発・発展研究会（みがくSD研）（2018）. みがくSD研の活動と研究成果紹介, 第32回自治体学会青森大会ポスターセッション。

長岡素彦・伊藤通子・松田剛史（2018）. 「ESDにもとづいたアクティブラーニング・PBLワークショップ」企画・実施, 日本ESD学会第1回大会（奈良教育大学）。

未来の学びと持続可能な開発・発展研究会（2018）. ローカルガバナンスのための学びと2030アジェンダ・SDGs地域デザイン学会, ローカルガバナンスフォーラム, 第4回フォーラム。

村松陸雄・村山史世・三木柚香・小山田健（2018）. 越境のライフストーリー 改めて共生を問い直すために 日本共生科学学会第10回横浜関内大会（横浜）

畑正夫（2018）. 人と自然の営みを持続可能にする地域ビジョンの形成とSDGsへの期待 日本共生科学学会第10回横浜関内大会（横浜）

村山史世（2018）. 遊び仕事から地域のサブスタンスの痕跡をたどる学び〜共生教育としてのESDの一実践 日本共生科学学会第10回横浜関内大会（横浜）

長岡素彦（2018）. SDGs持続可能な開発計画とSF国連仙台防災枠組みへの共生アプローチ 日本共生科学学会第10回横浜関内大会（横浜）

松田剛史（2018）. ESD人材育成事業協力校から見た実証実践のふりかえり〜北海道・石狩市立双葉小学校での実践より〜 関係性の教育学会第16回（2018）年次大会（東京）

石井雅章（2018）. ランダム化手法を用いた「学びの振り返りシート」の効果測定の取り組み 関係性の教育学会第16回（2018）年次大会（東京）

伊藤通子（2018）. PBLのデザインと効果について 関係性の教育学会第16回（2018）年次大会（東京）

松田悠希・陣内雄次（2018）. 子ども食堂の地域コミュニティ形成に関する一考察 栃木県内の子ども食堂を事例に 関係性の教育学会第16回（2018）年次大会（東京）

長岡素彦（2018）. 持続不可能な未来を超える教育 SDGs・ESD(SDGs4-7)とMIL 関係性の教育学会第16回（2018）年次大会（東京）

長岡素彦・勝浦信幸・松田剛史（2018）. 【課題研究】 アクティブラーニング・PBLと地域連携教育 関係性の教育学会第16回（2018）年次大会（東京）

田中優（2018）. 近畿自治体学会特別企画 学ぼう・話そう・つながろう講座（神戸）

村山史世（2018）. 地域コミュニティのガバナンスによそ者・若者が参画すること 日本地方自治研究学会関東部会（東京）

村松陸雄・石井雅章・勝浦信幸・陣内雄次・滝口直樹・田中優・長岡素彦・畑正夫・埴雅典・早川公・村山史世・吉本理沙（2018）. 持続可能な地域・世界をつくるPBL・地域連携教育 参加者企画セッション, 第24回大学教育研究フォーラム（京都）

村松陸雄・滝口直樹・石井雅章・村山史世・長岡素彦（2017）. エコプロ2017同時開催セミナー「SDGsを活用して、市民・企業・自治体で地域課題の解決」

勝浦信幸（2017）. 地域連携教育実践（PBL）とその評価について 関係性の教育学会第15回（2017）年次大会（東京）

石井雅章（2017）. 「プロジェクト型」/「非プロジェクト型」地域連携教育によるステイクホルダー間の関係性及び教育プラットフォームの相違に関する考察 関係性の教育学会第15回（2017）年次大会（東京）

松田剛史（2017）. 地域連携教育のプラットフォーム拡張に向けた活動事例-三笠ジオパークESD推進協議会での取組- 関係性の教育学会第15回（2017）年次大会（東京）

村山史世（2017）. 状況的学習としての師弟同行型PBLと地域共創 関係性の教育学会第15回（2017）年次大会（東京）

長岡素彦（2017）. 学びのイノベーションプラットフォーム-ディグリーアプレンティシップの彼方に 関係性の教育学会第15回（2017）年次大会（東京）

長岡素彦・滝口直樹・石井雅章・村山史世・岡本弥彦（2017）. 公開シンポジウム「SDGs/ESD×共生教育」日本共生科学学会第9回八王子（高尾）大会

村山史世・陣内雄次・滝口直樹・長岡素彦（2017）. 自治体総合計画とローカルアジェンダ・2030アジェンダ コミュニティ政策学会第16回学会大会（豊中）

陣内雄次・村山史世・長岡素彦（2017）. 未来世代、みらいのコミュニティの担い手政策 コミュニティ政策学会第16回学会大会（豊中）

畑正夫・滝口直樹・村山史世・長岡素彦（2017）. ガバナンス時代の自治体計画と持続可能な開発目標(SDGs)の接点を探る

日本計画行政学会第40回大会（東京）

畑正夫・村山史世・石井雅章・田中優（2017）. 研究部会セッション3「PBL(Problem or Project Based Learning)を用いた“よそ者・若者”と描く持続可能な地域デザイン」日本地方自治研究学会 第34回全国大会（松山）

村松陸雄・石井雅章・勝浦信幸・村山史世（2017）. 教育実践が大学教員にもたらす越境性(Transboundary)と多様性(Diversity) 参加者企画セッション, 第23回大学教育研究フォーラム（京都）

浅川和也・長岡素彦・陣内雄次・竹内久顕・浅川和也（2017）. アクティブラーニング・PBLによる大学-高校の地域参画・社会参画教育-次期指導要領を活用したシティズンシップ教育、平和教育、ESD参加者企画セッション, 第23回大学教育研究フォーラム（京都）

石井雅章・村松陸雄・村山史世・長岡素彦（2016）. 地方自治体の総合計画と持続可能な開発目標(SDGs)の関連性についての分析 日本地方自治研究学会 第33回全国大会（東京）

長岡素彦・松本淳・坂本旬・石井雅章（2016）. 市民・企業・行政ですすめるイノベーションとESD Code for Japan Summit2016（横浜）

未来の学びと持続可能な開発・発展研究会（2016）. 共生カフェ「SDGs×市民社会」日本共生科学学会 第8回淑徳大学東京大会（東京）

長岡素彦（2016）. 共生を築くイノベーションESD-ESDと復興2 日本共生科学学会 第8回淑徳大学東京大会（東京）

石井雅章・田中優・村山史世・長岡素彦（2016）. PBLにおける研究活動と教育実践のインタラクション 参加者企画セッション, 第22回大学教育研究フォーラムセッション（京都）

村松陸雄・石井雅章・長岡素彦・滝口直樹・村山史世（2016）. 持続可能な開発目標(SDGs)を理解し、考える授業とは？ 自主課題研究 日本環境教育学会 第27回大会（東京）

村松陸雄・村山史世・小宮菜摘・中山亮太・山田和彦（2015）. 「ESD」×「ノンフォーマル教育」/「大学」=？を考える 自主課題研究 日本環境教育学会 第26回大会（名古屋）

田中優（2015）. 人口減少地域におけるコミュニティの活性化-学生プロジェクトを通じた京都府南山城村の事例考察-, コミュニティ政策学会第14回大会（伊賀）

田中優（2015）. 学生プロジェクト活動を通じたコミュニティ再生への取組み-京都府南山城村の事例考察-, 第29回自治体学会奈良大会（公募分科会「『ひと・まち・であう/つくる/まなぶ』〜協働型課題解決（協働学習）を通じた地域づくりの試み〜」）

石井雅章・村山史世・村松陸雄（2014）. <当事者>の語りから、大学におけるPBL(Problem Based Learning)とESD(Education for Sustainable Development)について考える 自主課題研究 日本環境教育学会 第25回大会（東京）

田中優（2014）. 地域協働を通じた実践教育の試み-大阪国際大学における『ひと・まち・であう/つくる』プロジェクト事例をもとにして-, 第19回FDフォーラム・第8分科会「体験型学習の現状と課題」<主催：コンソーシアム京都>

田中優（2014）. 『ひと・まち・であう/つくる』プロジェクト(PBL)を通じた地域活性化の試み, 日本地方自治研究学会関西部会第100回研究会

※その他、多数あり

## 研究会事業

2019/9/15 小山田健・小林大輔・近藤直樹・畑正夫・長岡素彦「学びのハブとしての大学：地域と大学が協働するための第一歩」 兵庫県立大学 神戸商科キャンパス 教育棟II

2019/8/4 勝浦信幸・長岡素彦 まちの未来を協働で考える・SDGs 一まちの小さな活動から (一社) 地域連携プラットフォーム/未来の学びと持続可能な開発・発展研究会

2019/2/25 仁愛兼済×SDGs～「これまで」の取り組みを「これから」につなげるために～ (仁愛大学人間学部コミュニケーション学科主催)

2019/2/23-24 みがく SD 研究会年次大会 (みがく SD 研まつり) in Osaka (大阪国際大学)

2018/9/16 未来の先生展 2018 (聖心女子大学) 「学生と共に学ぶ SDGs ワークショップ」

2018/8/20 未来の学びと持続可能な開発・発展研究会 関西研究会「PBL 学びの可能性をひらく授業づくり」(大阪国際大学)

2018/8/6 SDGs と大学 「大学での SDGs と ESD・PBL」 (宇都宮大学教育学部)

2018/7/21 SDGs を理解するから SDGs で取り組むための講座とワークショップ「SDGs を活用した企業、自治体、学校・大学、市民での課題解決に向けて」 (主催：サステナブルフューチャー) (東京都文京区)

2018/5/5 PBL・地域連携の研究会 B 日程 (川越) ※関係性の教育学会と共催

2018/5/1 PBL・地域連携の研究会 A 日程 (大宮) ※関係性の教育学会と共催

2018/3/18 名古屋研究会「こころ・からだ・教室・地域・世界をつなぐ」(名古屋)

2018/2/24-25 みがく SD 研究会年次大会 (みがく SD 研まつり) in KOBE (神戸)

2017/11/12 大学の地域連携と地域連携教育研究会 in 有明 (東京)

2017/9/13 SDGs で整理する 企業と地域の協働研究会 (東京) ※関東地方環境パートナーシップオフィス (関東 EPO) 主催

2017/8/16 SDGs・CSV と地域連携教育に関する公開研究会 (東京)

2017/7/29 「SDGs と地域連携」公開研究会 (東京)

2017/7/10 SDGs・CSV に関する公開研究会 (東京)

2017/6/17 地域連携教育に関する公開研究会 (宇都宮大学) ※関係性の教育学会主催

2017/4/22 第 2 回研究会 (川越) 「自治体計画 SDGs+地域連携教育 PBL 総合討論・WS(共催:関係性の教育学会) 地域・ESD」

2017/2/25 イノベーション教育に関する公開研究会 (東京)

2017/2/8 地域連携教育とルーブリックに関する公開研究会 (東京)

2017/2/3 第 1 回研究会「自治体計画 SDGs」 (東京)

2016/12/11 地域参画学習に関する公開研究会 (宇都宮大学) ※関係性の教育学会、宇都宮大学教育学部陣内研究室と共催

2016/11/13 PBL シンポジウム (東京)

2016/10/22 「質的調査」に関する公開研究会 (長野大学) ※関係性の教育学会主催

※その他、多数あり

## 調査活動

北九州の SDG と ESD に関する意見交換会及び訪問 (2018/9/10)

豊中市アジェンダ、大阪大学ヒアリング

関係性の教育学会 (日本学術会議協力学術研究団体) 課題研究 (2016 年度・2017 年度) 共同研究

「アクティブラーニング・PBL、地域連携教育に関する実践・調査研究」2017

「アクティブラーニング・PBL に関する実践・調査研究」2016

SDGs ヒアリング 高木超氏 (Claremont Graduate University/Executive Leadership Programme in Evaluation and the Sustainable Development Goals) 2018/5/18

※その他、多数あり

## 競争的資金等の研究課題

「異分野融合を志向する越境研究者ネットワークによる社会問題解決」平成 29 年度学院特別研究費 (学校法人武蔵野大学)

「異分野融合を志向する越境研究者ネットワークによる社会問題解決」平成 30 年度学院特別研究費 (学校法人武蔵野大学)

「PBL (Problem or Project Based Learning) を用いた「よそ者・若者」と描く持続可能な地域デザイン」2016～2018 年度 日本地方自治研究学会研究部会

※その他、採択予定の科研費等の申請あり

## 今後の出演予定

2019/9/28-29 「SDGs とシビックテック」セッション, Code for Japan summit2019 一般社団法人 地域連携プラットフォーム, 長岡素彦, 村山史世

2019/09/21-22 日本地方自治研究学会 第 36 回全国大会

2019/9/15 小山田健・小林大輔・近藤直樹・畑正夫・長岡素彦「学びのハブとしての大学：地域と大学が協働するための第一歩」 兵庫県立大学 神戸商科キャンパス 教育棟II

2019/9/12-14 日本計画行政学会 第 42 回全国大会プログラム (徳島文理大学) 畑正夫・長岡素彦・滝口直樹・村山史世・石井雅章 ワークショップ B1 「SDGs レンズで見る転換期の地域開発政策の検討」

2019/8/28 陣内雄次・伊藤通子・石井雅章・長岡素彦「学びのハブとしての SDGs—ESD としての SDGs」 (一社) 地域連携プラットフォーム

2019/8/24 長岡素彦他 グローバル MIL ウィーク 2019 企画 Part1 「SDGs とメディア情報リテラシー」

2019/8/23-25 第 33 回自治体学会堺大会 滝口直樹・勝浦信幸・河田次郎・塩見昌男・畑正夫・村山史世 (2019). 分科会 7 「SDGs を問い直す /SDGs で問い直す～自治体・地域社会の新しい未来」 (企画責任者/田中優、小林美智子) 第 33 回自治体学会堺大会

2019/08/19-20 日本 ESD 学会 第 2 回大会 (宮城教育大学)

長岡素彦・松田剛史 ワークショップ d 「ESD に基づいた SDGs を一みんなの SDGs 実践によって」 日本 ESD 学会 第 2 回大会 (宮城教育大学).

2019/8/18 長岡素彦他 SDGs・ESD と防災減災 (仙台) 一社) 地域連携プラットフォーム

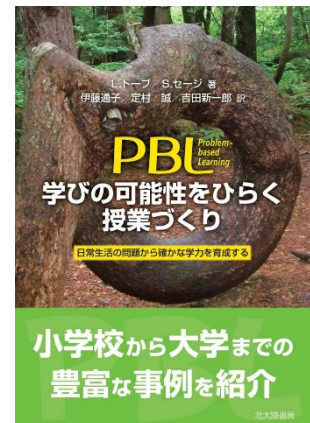
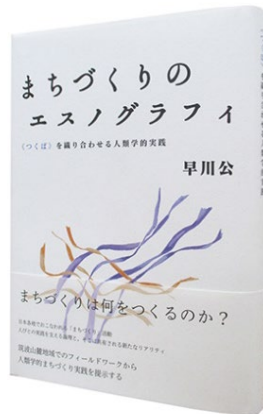


## 連絡先

未来の学びと持続可能な開発・発展研究会（みがく SD 研）事務局

135-8181 東京都江東区有明 3-3-3 武蔵野大学 村松研究室気付  
fumimura@musashino-u.ac.jp <https://sdgspbl.jimdo.com/>

## 広告スペース



著者:田中 優

書名:「学生・教職員・自治体職員・地域住民のための地域連携 PBL の実践」

出版社:ナカニシヤ出版

出版年月:2018年12月

ISBN:9784779512353

著者:早川 公

書名:「まちづくりのエスノグラフィ《つくば》を織り合わせる人類学的実践」

出版社:春風社

出版年月:2018年12月

ISBN:9784861106262

著者:山口 泰史

書名:「若者の就職移動と居住地選択」

出版社:古今書院

出版年月:2018年11月

ISBN:9784772290135

著者：トープ・リンダ、セージ・サラ／伊藤 通子・定村 誠・吉田 新一郎【訳】  
書名：「学生・教職員・自治体職員・地域住民のための地域連携 PBL の実践」  
出版社：北大路書房  
出版年月：2017 年 9 月  
ISBN：9784762829925